

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 2025年12月20日

事業所名：児童発達支援 こばんはうすくら 西大宮教室

対象人数（保護者）27人 回答者数 26人 回収 96.3%

チェック項目		はい	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24		2	部屋が随分小さい部屋で遊んでいるので質問したところ、部屋は狭い方が落ち着く子が多いとのことでしたが、保育園で狭い室内に閉じ込められていると園児達が明らかにストレスが生まれて喧嘩が絶えなくなるのを感じている（ただし狭いとか本当に狭い段ボールの家とかそういうのが子どもは落ち置いて大好きなのは理解しています）2時間くらいや少人数だといふことは思うのですが、先生を含めて人数が増えるとストレスではないのかなあと感じました。	市指定許可のスペースに対する利用定員を遵守しています。また、仕度する部屋、着席して取り組む部屋では扉を開けて部屋を作り、リズムやサークルなど体を動かす時は扉を開けて広く使うなど、人数や活動に応じて部屋の広さを変更しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24		2		国基準に則り、資格を保有した職員を適正な人数で配置しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21		5	自分の子に限って言えば、走り回るのが本当に楽しそうで好きなので、設備の大きさは合わないにせよ、公園など、のびのび活動できる場所に連れ出してもらわなければ難しいです	訓練室、相談室、トイレ、玄関、事務室などに空間を分けています。玄間に段差はありますが訓練室内に段差はありません。屋外活動時は近隣の公園を活用しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25		1		毎日床の水拭きをし、トイレ、水回り、おもちゃ等のアルコール消毒を行っています。運動を行なうスペースには物を配置しないようにしています。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25		1		外部研修や内部研修を活用し職員の専門性を高めるよう努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1	3		本部HPにて支援プログラムを公開しています。お子さまの「やりたい」という気持ちを育むプログラムを心掛けています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26				
	8 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「[本人支援]」「[家族支援]」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24		2		支援内容には支援方法などどのように進めていくかを明記しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25		1		個別支援計画記載の目標を月ごとにスマートステップに細分化し、具体的な到達目標及び支援内容を設定し支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20		6	1つのトレーニングでもやり方や方法を変えて提供していただいているおかげで、子どもも毎回楽しく取り組めているように思います。	户外遊びや微細遊び、感覚・感覚統合遊び、リズム、運動遊び、サークル、音楽、体操など季節を感じるプログラムを実施しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	9	4	13	今のところ参加できていません。	現在のところ近隣の公園や児童館での活動、他事業所との交流などを通じて他のこどもの開拓があります。今は文化祭に参加してオーディオ体験や楽器体験を学生さんとしました。今後児童館の催しや地域のイベントへの参加、保育園幼稚園との交流について検討していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています。	17		9	就学前相談についての保護者会を開催いただき、先輩保護者の方のお話も伺うことができ大変参考になりました。	個別のアドバイスをさせて頂いたり、保護者会などで先輩ママから就学のアドバイスを聞く機会を設けたりしています。
保護者への説明等	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	25		1	送迎時に先生それぞれの視点で子どもの様子を話していただるのが楽しみであり子育ての参考になっています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21		5		半年に一度の面談の他、ご家庭から申し込みがあれば児童発達支援管理責任者が対応しています。また、お子さまの様子をご覧になりたい場合はモニター見学の対応もあります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているのか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21		5	一人っ子なのでわからない ヴァイオリンやエプロン絵本、ピアノの演奏など親子で楽しめる素敵なお誕生会を開催いたしました。運動会も本格的に親子で楽しんで楽しく参加しました。 まだ一回しか行ってないのでわからないこと知らないこと経験していないことが多いです	毎年保護者会、参観、運動会、教室イベントを開催し、保護者の方やきょうだい同士が交流する機会を設けています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23		3		申し入れに応じて児童発達支援管理責任者が対応しています。迅速に今後も対応出来るようにしていきます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24		2		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に発信されていますか。	26				
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24		2		
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20		6		各マニュアルを策定し訓練を実施した際はSNSなどで様子を発信しています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20		6	年一回程しかないのであまり参加できないので、本人が訓練できなければ意味がないがする	地震による訓練、火災時訓練などを実施しています。地震を想定した訓練を親子参観でも行いました。実施した際はSNSなどで様子を発信しています。
非常時等の対応	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていますか。	21		5		安全計画を策定し、年1回見直しをしています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかに連絡や事務が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22		4	今のところそういう事態に直面していません。	発生時は対象のご家庭にすぐに連絡し、説明をしています。室内であればモニターを確認するなど発生状況を把握した上でお伝えします。
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	25		1		大事なお子さまがご家庭以外で安心して過ごすことができる場所になるよう日々信頼関係を築くよう努めています。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	1		とても楽しみにしています！毎朝自分から玄関に行きお迎えを待っている様子です。 1 楽しみなのはもちろん、心のオアシとして通っているように感じます。 ここ最近、行くのをとても渋っています	お子さまの成長と共に考えられる教室づくりを継続できるようにしていきます。
満足度	29 事業所の支援に満足していますか。	24	1	1	先生お子さまのおかげで、子供も毎回楽しく取り組み少しづつ成長しています。また、親としては身自立から子どもの精神的な指導など様々学ばせていただいている。親子で安心して通所しています。 毎回の送迎が嬉しいので必須にして欲しいです	お子さまとご家庭に喜んで頂ける支援を今後も行なっていきます。送迎については検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こばんはうすさくら西大宮教室（児童発達支援）				
		公表日 令和7年12月20日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			利用人数に対する職員数は適切ではあるが、児童の特性によって対応が難しいと感じる職員がいる。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		活動ごとに部屋を区切り、子ども達に分かりやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		パーテーションや扉で部屋を区切り、使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8			勤務時間の関係で参加機会を少なく感じている職員がある可能性がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者向け評価アンケートの実施、評価に対する振り返りと改善点を話し合う会議を毎年行っている。	アンケートによりご家庭の意向を把握しているが、結果を活用することについて不明な職員がいる。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	第三者による外部評価は現在行っていない。	実施については検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	各研修について朝礼や掲示による周知を行っている。	一部の職員は受講に結びついていない。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10			

供 給	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		季節感のあるプログラムを5領域に沿って実施している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		役割分担や活動計画書を作成して、チームで連携している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		全員で行うことは難しい時があるので業務日誌等で共有。 可能な時間帯に勤務中の職員で振り返りを行っている。	支援に携わった職員で振り返りをする時間を確保する必要がある。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		セルフプランの児童が多いため機会は少ないが、児童発達支援管理責任者が参画している。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		相談支援事業所、保育園、幼稚園、センターと連携できる体制を整えている。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		ご家庭の了承のもと、併用児童の在籍園と連携し相互に見学、情報共有をしている。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		保護者を通して共有することはある。	ご家庭のニーズを確認し、希望や必要に応じて共有を検討。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6			
児 童 発 達 支 援 計 画 の 実 施	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	児童センターや地域の公園にて、または事業所同士の交流を行っている。運動会などの行事にきょうだいを招くことで交流の機会を設けている。	交流の機会が限定的で頻度が少ない。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時やサービス提供記録、電話などで伝え合っている。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		参観、運動会、教室イベントを通してご家庭へのアドバイスを行っている。保護者会では先輩ママの体験談を聞く機会を設けるなど情報提供を行っている。	各取り組みの意図を職員で共有しきれていない可能性がある。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に行っている。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			

保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		保護者会、運動会、教室イベントを開催し、各行事で交流の機会を設けている。	きょうだい同士の交流の機会が少ない。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		相談に関しては申し入れがあった時に児童発達管理責任者が対応している。	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10			
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2		昨年に引き続き社会福祉協議会を通じて夏のボランティアを受けられたり、心理実習生を受け入れたりするなど行っている。	イベントや平日の活動プログラムに、地域交流に結びつく内容を実施するなどの工夫が必要。教室の催し物などを地域に発信・開放するなどについても検討。
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		各マニュアルを整備し、訓練実施時はSNSや会報で発信している。	
非常時等の対応	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCPは年度ごとに見直しを行い、訓練も本年度は実施済みである。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		医師の指示書があるケースは現在のところないが、保護者から申し出があれば対応している。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成し、年1回の見直し、訓練及び研修を行っている。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		SNSなどで取り組み・活動の様子を発信している。	継続的に発信する必要がある。
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止研修を毎年実施している。本年度も実施済み。	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	委員会を設置しやむを得ず行う場合の3要件を定めている。現在該当はないが、該当児童がいれば基本指針に則って実施する。	現在該当児童なし。